

「と金」のいろいろ

「今」の草書を書いている		「今」か「と」かビミョー		「と」を書いている			「今」でも「と」でもない	
								
兼成	英歩	兼俊	水無瀬	篁輝	雀園	玉舟	天童草書体	木村名人書
								
水無瀬兼成	古水無瀬	清定	清安	竜司	峰	関根名人書	英朋	
								
董斉書 豊島龍山作	董斉の別版 豊島龍山作	金龍		石橋書	清龍	巻菱湖		
								
長録	董斉書	翔鶴		信龍	小野鷲堂	安清		
								
董仙	淇洲			俊歩禎好	山華石	源兵衛清安		
								
錦旗	宋歩好			三邨	三田玉枝	阪田好		

「と金」は「金」と同じ「キン・コン」という音をもつ「今」の草書を当て字として使っている、という説がある。上記の字体を見る限り、この説は有力だとおもう。

「金」の草書の極端な略字という説もあるが、『古文書大字典』、『江戸版本大字典』、『異体字字典』のいずれにも「金」を「今」の草書のように略す例は発見できなかった。ただ、日本は「圓」の中身を縦線に省略して「円」という字をつくったり、「候」を点にしたり極端な省略もしているので、この説もすてきれない。

作成：大熊肇